

## 保健医療の調査研究事業

### 1. Samsara サムサーラ研究事業

小林奈美、大田浩右

協力 岡山県文化資料保存協会ほか

岡山県文化資料保存協会・大田ふるさと資料館内にて、サムサーラによるストレス軽減効果および癒しを促す多面的支援法を検討する研究の準備を進めたが、コロナ感染拡大のため健康セミナーは休止を余儀なくされ、研究としての継続は今年度をもって終了する。今までの研究成果を「大田浩右著. Stage4 余命告知から10年」としてまとめ、福山医師会広報に掲載した。

【資料】大田浩右著. Stage4 余命告知から10年

### 2. 脳過敏症のバイオマーカー研究

小林奈美、大田浩右、大田慎三

協力 明神館クリニック

2018年度より継続してきた脳過敏症バイオマーカー研究としてのリンパ球分画とオージオグラムについて総括した研究報告をまとめた。この報告をもって本研究は終了とする。

【資料】研究報告 脳過敏症のバイオマーカー

### 3. 脳血管障害に関する臨牀からの調査研究

大田慎三、小林奈美

「より安全な血管内アプローチを可能にする脳動脈瘤画像アセスメント法:四輪法の勧め」  
内頸動脈起始部狭窄症に対する治療法、治療成績、予後に関する調査研究

→「人に優しい血管内治療(2008年発行)」の後続版として新たな治療法(パイプライン、ブラッドパッチなど)と症例を冊子にまとめる方向で進めている。

3Dプリンターによるモデリングを利用した臨床支援のための技術研究

→物理的な外部刺激によって安全な運動姿勢を脳が学習するツールとして、デュアルアクセス・インラインスケートを考案した。特許出願済、審査中である。

特願 2022-052208

発明者: 大田慎三

特許出願人: 一般財団法人 渋谷長寿健康財団

代理人: 弁理士 忒熊嗣久

### 3. ライフステージに応じた健康な睡眠を促進する家庭環境に関する研究 小林奈美

子どもの睡眠障害と心身症およびその重症化予防のための家庭環境に関する文献研究

→今年度は学童期の睡眠障害と親子相互作用及びその文化的相違について、海外文献を中心に知見をまとめた。

【資料】報告 学童期の睡眠障害と親子相互作用

## 市民健康啓発事業

### 1. 健康に関するパンフレットの出版

大田浩右、小林奈美

渋谷長寿健康財団が贈る家庭の医学シリーズ  
隠れ認知症の予防-そして治療- 冊子を発行

【資料】 隠れ認知症の予防-そして治療

### 2. 市民公開講座

大田浩右、小林奈美

令和5年2月16日 盈進学園講演 15:30-16:30 大田浩右  
「眠りとは何だろう」 中学2生対象 120人

【資料】 講演資料

令和5年3月18日 ローズコム(福山市) 15:00-16:00 大田浩右  
渋谷長寿健康財団が贈る家庭の医学講座 2023  
「睡眠のはなし」 一般市民対象 100人

【資料】 講演資料とアンケート結果

### 3. 無料相談ホットライン:がん相談ホットライン

大田浩右、中川多恵子、小林奈美  
協力 明神館クリニック

末期がんの方々を対象に無料相談を行う。

→ 今年度は、全国から10件の相談があった。(2023年3月現在)

(男性0、女性10: 30代~40代:2件、50代~60代:8件) 癌の部位、種類は多様。

【資料】 がん相談内訳

### 4. ゲルソン食事療法の啓発事業

小林奈美、大田浩右  
協力 福山健康舎

ゲルソン食事療法を体験しながら学んでもらう。

→ 福山健康舎らの協力を得て「Healthy food サムサーラ 陽だまりの家」を開設。

コロナ感染症拡大の影響により休止を余儀なくされたが、食事療法に関するホームページを更新した。

### 5. 生活習慣見直し啓発事業

大田浩右、小林奈美  
協力 明神館クリニック

財団発行の冊子等を使用して生活習慣の見直しが必要な人に生活指導を提供した。

月平均20件、認知症、睡眠、腎臓食、運動などの内容が多かった。

【資料】 生活指導の実績

保健医療・福祉の顕彰事業  
澁谷昇賞

第8回澁谷昇賞の顕彰候補者(社会功労賞)として馬屋原良造を選定し、令和4年11月13日、澁谷長寿健康財団沖野上事務所において賞状およびトロフィーの授与式を行った。

【資料】 令和4年度 第8回澁谷昇賞